



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.126

平成 29 年 (2017 年) 7 月 7 日発行

### ■小暑 (しょうしょ) 7 月 7 日から 7 月 22 日までの節気

「小暑」の節気に入ります。小さい暑さと書きますが、23 日には「大暑」。大きな暑さが控えています。いよいよ暑さが本格的になっていくところです。近くの遊歩道に、ムクゲの花が満開です。白やピンクや紫色などのわりと大きな花で、太陽の光を楽しむように咲き誇っています。ムクゲは中国の花で、平安時代にはすでに日本にはいていたようです。みなさまのお住まいのところには、咲いていますか。

さて芒種のころに仕込んだ「梅シロップ」ができあがって、お風呂あがりに冷水で割って飲んでいます。おいしい! 「梅醤油」も、冷奴や焼きなすに使っています。枝豆もまさに旬ですね。先日、テレビをみていたら「狛江市」の枝豆が美味しくて、JA の野菜売り場では午前中にはもうなくなってしまおうとレポーターの方が話していました。そこで、さっそく行ってみました。午後一番にいったのですが、すでに売り切れ。やはり午前中にいかになくちゃだめなんだと思い、開店と同時に入ってみたら、ありました! さっそく 2 袋買って帰りました。豆の味が濃くて味わいがありとっても美味でした。それ以来、常連さんに仲間入りです。

きょう、7 月 7 日は七夕。私の住んでいる町の駅前では線路をはさんで、南側と北側それぞれに、笹飾りが立てられて、行く人たちが自由に願いごとを書いて吊るしています。北側にはさらに和菓子屋さんがあって、その店頭にも笹飾り。駅前が華やかです。私も孫たちと少しずつ飾りを作り、笹飾りをたてました。孫たちのお願いごとも、「サッカーがうまくなりますように。(小4)」「かぞくがけんこうでありますように。(小1)」と、ずいぶん現実的なものになりました。短冊で知るこどもの成長、です。

13日から16日は、「お盆」です。我が家は、迎え火、送り火、お墓まいりぐらいしかしないのですが、友人の家では、盆だんごを準備するそうです。お迎えする日には、みたらしだんご。滞在中はおはぎ。送る日には、なにもつけない白いおだんご、というように3種類のおだんごをお盆のあいだ、お供えするそうです。うちの近くの和菓子屋さんでも、お盆のころに、「おむかえだんご」と「おくりだんご」が売り出されます。月見だんごのように白いおだんごで、夕方にはさげて食べるものなのだそうです。私の父も弟も夫の母も、おだんごが大好きでしたから、今年はお供えしてみようと思います。きっと喜んでくれると思います。

さて7月21日は、日本三景の日です。日本三景といえば、宮城県の「松島」京都府の「天橋立」広島県の「宮島」。いずれも、海に面していて、海と、松の深い緑の景観が、美しいところです。この三景をさらに広くPRするために、日本三景観光連絡協議会が制定しました。日本三景は、江戸時代の儒学者で、全国を行脚した林春斎が「日本国事跡考」の中で絶賛したことが由来とされています。ですから、日付は青い海と深い緑が際立つ夏の時期でもあり、林春斎の誕生日が7月21日であることから決めたそうです。松島は太平洋に面していて、天橋立は、日本海。宮島は、瀬戸内海。私は、まだ宮島にしか行ったことがありません。松島と天橋立もぜひ見ておきたいと思います。

昨日、山形からサクランボが届きました。ツヤツヤしてプリプリして甘みがあつてとてもおいしかったです。夏は、もも、スイカ、すもも、メロン、あんず……、おいしい果物がたくさんありますね。旬を味わって、蒸し暑い夏を乗り切りましょう。

小暑の季節。お健やかに過ごしてください。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。 雑感彼是

「ともいき暦」は「ジャパネスク」の根幹の要素のひとつです。

現在 NPO PTPL が企画・制作・運営している「ともいき暦」は、日本人に共通の

現代版暦です。しいて言えば「ともいき暦・日本」です。

最近、47 都道府県別の「ともいき暦」をつくろうではないかという意見がふつふつと関係者の間から出てきています。

しかし、47 都道府県別の「ともいき暦」をつくるとなると、地元に住んでいる人々、生活している人々を中心（自治体・企業・神社・寺院などなど）とした絶大なる協力なくしてはできません。

基本要素は現在の「ともいき暦」を使用して、県の年中行事・記念日・祭などの詳細な情報（文章だけでなく豊富な写真、映像）が必要です。NPO PTPL のスタッフだけではとてもとても・・・対処できません。

多くの地元の人々の協力とおらが県の「ともいき暦」をつくろうという意欲が必要です。

とても困難な仕事ですが「〇〇県ともいき暦」、つまり現代版「〇〇県風土記」をつくろうということは、とても有意義なこと、価値のあることだと思います。たくさんの利用価値が生まれてくることでしょう。

NPO PTPL では慌てず、ゆっくりとこのプロジェクトを一步一步、前に進めるべく研究、開発していきたいと考えます。

ご意見あればお寄せ下さい。

●われわれの祖先は、人間の側から一方的に自然を見るのではなく人間も自然の一部であり、生かされて生きているという観念のもと、自然の大きな回帰循環する時間の中で生きるということを「生活の知恵」としてきました。

日本独特の風土に影響されながら、この知恵と体験を蓄積して発達してきたのが人と自然が共に生きる「ともいき」という自然観・生命観であり、祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の生活のありようです。

ともいき暦：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2017/>

## ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

- 7月21日は「日本三景の日」ということを、初めて本文を読んで知りました。  
3か所とも海の青と松の緑の組み合わせによる日本ならではの景観をつくりだしていると思います。私はこれに三保の松原を加えた日本四景になればと、本文を読んで思った次第です。なにせ、三保の松原の背景には日本の、世界の宝の富士山があるのですから。

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

- NPO PTPL は「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」

(<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>) をお読みください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp